

# トラベクトーム手術

## : 此处が聞きたい Part II

2015年10月24日(土) 17:00~18:00 第8会場 (名古屋国際会議場 2号館3F 会議室234)

### 座長



### 新家 眞 先生

公立学校共済組合 関東中央病院 病院長

2011年1月に発売以来、国内で約70施設、約6000例の患者さんにトラベクトーム手術が施行されてきました。日本人を対象にした場合、いったいトラベクトーム手術によって、どの程度の眼圧下降がどのような症例で得られていたのでしょうか?今回はまず日本人症例の蓄積の結果明らかになった、トラベクトーム手術の長期成績を、渡邊三訓先生にまとめて戴き、諸外国におけるそれと比較しつつ、本邦におけるトラベクトーム手術の立ち位置を理解したいと思います。

更に渡邊先生を含む計4名の先生方をパネリストにお迎えして、トラベクトーム手術の実際について、手技や臨床上の疑問点や問題点、トラブル対応等のユーザーからの様々な質問や疑問に対する回答とDiscussionをしていただきたいと思います。これにより、多くの異なった観点からのトラベクトーム手術論を聴衆の方々と一体となって深めて行けるのではないのでしょうか?

本セミナーにより、現在本邦で唯一承認を受けたmicro invasive glaucoma surgery (MIGS)であるトラベクトーム手術に対する皆様の評価が定まり、また理解が深まれば幸いです。

### 演者・パネリスト



本邦における  
トラベクトーム手術の長期成績

### 渡邊 三訓 先生

中京眼科 副院長

### パネリスト



### 相原 一 先生

東京大学医学部眼科学教室 教授



### 庄司 信行 先生

北里大学医療衛生学部 視覚機能療法学 教授



### 植田 俊彦 先生

二本松眼科病院 副院長

# TRABECTOME®

